

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版\_速報版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v2.3.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)株)ギオン新冷凍物流センター	階数	地上2F
建設地	相模原市南区大野台三丁目2884-1, 2887-2・4・5	構造	S造
用途地域	市街化調整区域、防火指定なし、法22条区域	平均居住人員	60人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年1月 予定	評価の実施日	2025年7月18日
敷地面積	9,625㎡	作成者	(株)小島組
建築面積	4,531㎡	確認日	2025年7月18日
延床面積	8,558㎡	確認者	(株)小島組



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.5**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.2

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	N.A.
温熱環境	N.A.
光・視環境	N.A.
空気環境	N.A.

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.5

機能性	N.A.
耐用性	2.9
対応性	4.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.0

建物外皮の	N.A.
自然エネ	3.0
設備システ	4.6
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.1

水資源	3.4
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化	4.1
地域環境	3.0
周辺環境	3.2

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
当該地は東名高速道路の横浜町田インターチェンジから直線距離9.3km、圏央道相模原愛川インターチェンジから直線距離4.5kmに位置する市街化調整区域であり、工場単一用途(倉庫)の建築物で鉄骨造2階建てにて計画した。		敷地面積の20%以上の緑地面積を確保し、周辺環境と調和が図れるように配慮した。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし。	階高は3.9m以上。 壁長さ比率は0.1未満。 倉庫部分床荷重は4,500N/m <sup>2</sup> 以上。	特になし。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
ZEB Ready基準を達成。	躯体と仕上材等が容易に分別可能とすることで、資材の有効活用に繋がるように配慮した。	LCCO <sub>2</sub> 排出率=70%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される